



能 整 第 322 号
平成27年12月15日

国土交通大臣 様

能勢町長 山 口



社会資本総合整備計画の事後評価の報告について

社会資本整備総合交付金交付要綱第10第1項に基づき、社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）の事後評価を行ったので、別添のとおり報告する。

記

社会資本総合整備計画名称：きれいな小川とくらしでまちを元気にする能勢町下水道

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

平成27年12月15日

計画の名称	1 きれいな小川とくらしでまちを元気にする能勢町下水道										
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	能勢町				
計画の目標	下水道普及率の向上、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指す。										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 未普及地区の下水道整備を推進し、普及率を19.8%(H22)から21.3%(H26)に増加させる。 										
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考		
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	当初現況値		中間目標値		最終目標値						
	(H22当初)		(H24末)		(H26末)						
	19.8%		20.5%		21.3%		計画				
		19.8%		20.5%		21.6%		実施			
全体事業費	合計 (A+B+C)	356百万円	A	324百万円	B	0百万円	C	32百万円	効果促進事業費の割合	9.0%	
		291.2百万円		259.5百万円		0百万円		31.7百万円	C / (A+B+C)	10.9%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
能勢町環境創造部内において作成した事後評価（原案）を町ホームページ及び情報公開コーナーにて公表し、パブリックコメント（意見募集）を実施した。	事業終了後（平成27年度）
	公表の方法
	能勢町ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-1-1	下水道	一般	能勢町	直接	-	汚水	新設	能勢処理区柏原地区外の污水管渠整備	φ200污水管L=0.4Km φ200～75污水管L=0.4Km	能勢町					30	計画	
															30	実施	
A-1-2	下水道	一般	能勢町	直接	-	汚水	新設	能勢処理区東山辺地区外の污水管渠整備	φ250～75污水管L=3.9Km φ250～75污水管L=3.82Km	能勢町					294	計画	
															229.5	実施	
											合計	324	計画				
												259.5	実施				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名（港湾・地区名）	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C-1-1	下水道	一般	能勢町	間接	個人	排水設備	負担金・分担金における助成事業	合併浄化槽切替助成10戸 合併浄化槽切替助成5戸	能勢町						1	計画
C-1-2	下水道	一般	能勢町	直接	-	新設	末端管渠整備事業	汚水管渠 φ200L=0.5Km 汚水管渠 φ200L=0.49Km	能勢町						31	計画
														32	計画	
														31.7	実施	
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-1-1	公共下水道処理区域内で供用開始後3年以内に合併浄化槽から下水道に切替を行った際には、住民に助成(10万円/件)を行う事により下水道への接続促進を図る。															
C-1-2	基幹事業（A-1-2）と接続した末端管渠を一体で整備することにより、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 第3期計画区域内の柏原・平野地区の一部については、平成22年度に下水道管渠整備を行ったことにより、下水道普及率の向上、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指しての条件整備が整った。 第4期計画区域内の東山辺・平野地区の一部については、平成23～26年度に下水道管渠整備を行ったことにより、下水道普及率の向上、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指しての条件整備が整った。 			
II 定量的指標の達成状況		指標（下水道を利用できる人口（人）／総人口（人））	最終目標値	21.3%	目標値と実績値に差が出た要因 下水道処理人口普及率を算出する際の”下水道を利用できる人口”と”総人口”において、計画値と実績値に差が生じたため。
			最終実績値	21.6%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 第4期計画区域内の東山辺・平野地区の下水道管渠整備を引き続き推進し、下水道普及率の向上、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指す。 基幹事業（下水道管渠の整備）と効果促進事業（末端管渠整備、負担金・分担金における助成事業）を一体的に行うことにより、下水道普及率の向上による公共用水域の水質保全を目指す。 					

(参考様式3) 社会資本総合整備計画 事後評価

計画の名称	1 きれいな小川とくらしでまちを元気にする能勢町下水道		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	能勢町

